

第120回 平成26年秋季

東京大学公開講座



11/16(日) 人間と自然

12:50~13:00 江川 雅子 理事

開講の挨拶

13:00~13:50 川出 良枝 法学政治学研究所 教授

「人は人にとっての恵みか:人間の『社会性』をめぐる政治思想」

14:10~15:00 寺島 一郎 理学系研究科 教授

「太陽光の恵み:農地と自然陸域生態系の光合成」

15:20~16:10 菅 豊 東洋文化研究所 教授

「民俗学から考える動物の恵みと供養-『殺す』ことは罪か?」

16:20~17:10 (司会)西村 明 人文社会系研究科 准教授

総括討議

11/24(月) 恵みの配分

13:00~13:50 北村 友人 教育学研究科 准教授

「『持続可能な開発のための教育(ESD)』と

平和な国際社会の実現-『恵み』の配分を考える」

14:10~15:00 越塚 登 情報学環 教授

「『恵み』を後ろで支えるICT」

15:20~16:10 前田 章 総合文化研究科 教授

「経済学から見た環境と天然資源の配分」

16:20~17:10 (司会)岩月 純一 総合文化研究科 准教授

総括討議

12/13(土) 恵みの利用

13:00~13:50 鷲谷 いずみ 農学生命科学研究科 教授

「さとやまの恵みとヒトの持続可能なくらし」

14:10~15:00 多部田 茂 新領域創成科学研究科 教授

「海の恵みの持続的な利用にむけて」

15:20~16:10 丸山 真人 総合文化研究科 教授

「互酬と共生の経済学-コモンズを手がかりとして」

16:20~17:10 (司会)柴田 徳太郎 経済学研究科 教授

総括討議

17:10~17:20 古谷 研 農学生命科学研究科 企画委員長/農学生命科学研究科長

閉講の挨拶

恵み

- 会場：東京大学法文2号館 31番教室(文京区・本郷キャンパス)
- 対象：成人一般・大学生・高校生
- 定員：700人
- 受講料：全講義(3日間)一括申込5,000円 選択(1日)2,000円
※高校生及び東京大学の学生は無料

- 申込受付：平成26年10月28日(火)から
- 申込方法：このパンフレットに記載の手順に従ってお申込みください。

お問い合わせ

- Eメール：ext-info@ml.adm.u-tokyo.ac.jp
 - 電話：03-3815-8345
 - http://www.u-tokyo.ac.jp/gen03/d04_01_1.html
(東京大学ホームページ → 社会人・一般の方へ → 東京大学公開講座)
〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 本部社会連携推進課
- ※やむを得ない事情によりプログラムを変更する場合がございます。
ご了承ください。

—— 開講にあたって ——



人は独りでは生きていくことができない。誕生の瞬間から、親の愛と慈しみを受けて育ち、周囲から与えられる精神的、物質的な恵みに感謝することを通して社会性を身につけ、人として成長する。アリストテレスはこれを「人間はポリス的な動物である」と表現した。自らが授かる恵みに気づき感謝する、そしてそれが幸福の源であるとする教えは多くの宗教に共通する。しかし、現実には、人々の社会性に疑問を生じさせる事件は後を絶たず、宗教が苦しみを与えているようにしか見えない報道に接する。

一方、人類は自然から様々な恵みを受けてきたが、これからも同じように享受し続けることができるだろうか。20世紀の大量消費社会は天然資源の利用を加速し、地球規模で自然環境を劣化させている。さらに、生物多様性の減少が顕在化し、これまで当然のように受け取っていた自然からの恵みの将来が不透明になってきた。こうした状況から、恵みの配分に関する国際的な関心が高まっている。

このように恵みは健全な社会の実現にとって不可欠であるが、恵みの雨も過度になれば災害をもたらすように、状況や人々の価値観など数多くの要素を抜きに恵みを考えることはできない。人間社会から自然界にわたり様々な意味を込めて語られる恵みを人はどの様に捉え、さらにこれからどのように享受していこうとするのだろうか、さらにはそれを担保するために人は何をしなければならないのだろうか。この講座では、「恵み」をキーワードにしてこれからの社会の在り方を論じ合う。

平成26年10月
第120回東京大学公開講座企画委員会

委員長 古谷 研

(東京大学大学院農学生命科学研究科長)

講師講義内容の概要

11月16日(日) 人間と自然

13:00～13:50

人は人にとっての恵みか：人間の『社会性』をめぐる政治思想

法学政治学研究所・教授 川出良枝



大自然からの恵みと並び、人と人との絆は、我々が生きていく上でかけがえのない恵みであるという考え方があります。しがらみになんじがらめになれば、我々は自由に生きることができない、という考え方もあります。果たして、人は人にとっての恵みであると言えるのでしょうか。言えるとしたら、どういう意味でそうなのでしょう。人間の「社会性」(sociability) というテーマについて、政治思想の観点から考察します。

14:10～15:00

太陽光の恵み：農地と自然陸域生態系の光合成

理学系研究所・教授 寺島一郎



植物の行う光合成は、太陽光のエネルギーを使って有機物を作る反応です。ヒトや動物も含めた生物の体やその活動のためのエネルギーは、もとをたどれば、光合成に行きつきます。農地や森林の光合成生産の効率についてお話します。

15:20～16:10

民俗学から考える動物の恵みと供養－『殺す』ことは罪か？

東洋文化研究所・教授 菅 豊



自然恵みを享受するときには、「殺す」という行為が不可避です。日本人は、その恵みを授ける動植物たちに霊の存在をみとめ、それを供養してきました。その供養は、人びとに心の安寧をもたらすものの、一方で人間生活に必要な行為について人びとに罪悪感を抱かせ、贖罪意識を植え付けてしまう場合があります。この動物の供養を題材に、現在、もて囃されている日本人の自然との共生思想を批判的に捉え直してみたいと思います。

16:20～17:10

総括討議

人文社会系研究所・准教授／総括討議司会 西村 明

川出良枝／寺島一郎／菅 豊



11月24日(月) 恵みの配分

13:00～13:50

『持続可能な開発のための教育 (ESD)』と平和な国際社会の実現－『恵み』の配分を考える

教育学研究科・准教授 北村友人



「持続可能な開発のための教育 (Education for Sustainable Development: ESD)」と呼ばれる教育の考え方があります。これは、問題発見型・課題解決型かつ参加型・体験型の学びを特徴としており、協同的な学習活動などを通して実践されます。そうした学びを通して、国際社会における異文化理解や多文化共生を促すことで、平和な国際社会の実現に寄与するものと期待されています。今回の講義では、国内外の教育にかかわる諸課題をESDの視点から切り取り、社会における「恵み」の配分のあり方について皆さんと一緒に考えたいと思います。

14:10～15:00

『恵み』を後ろで支えるICT

情報学環・教授 越塚 登



私達は、地球上の自然からの「恵み」また多くの人々からの「恵み」を受けて生きています。しかし、自然も社会も、「天災」や「人災」というかたちで、時として私達に「牙」をむくこともあります。そこで、情報通信技術 (ICT) をもちいて、私達への危険を察知し、的確な行動をとることで、「牙」を避けて「恵み」を享受したり、また「牙」を「恵み」に転換する、そうした取り組みをご紹介します。

15:20～16:10

経済学から見た環境と天然資源の配分

総合文化研究科・教授 前田 章



地球環境や天然資源は天からの恵みです。この恵みの上に我々の現代社会は成り立っています。我々は石油などの資源を燃やし生産を行い、廃棄物を大気、地中、海中に投棄しているのです。この恵みをどう享受し保全するか、特に、一つの世代内で、そして現世代と将来世代の間でどのように配分するべきか、という問題は現代社会にとって最も重要な課題の一つと言えるでしょう。こうした問題を経済学の観点から考えてみたいと思います。

16:20～17:10

総括討議

総合文化研究科・准教授／総括討議司会 岩月純一



北村友人／越塚 登／前田 章

12月13日(土) 恵みの利用

13:00～13:50

さとやまの恵みとヒトの持続可能な暮らし

農学生命科学研究科・教授 鷺谷いずみ



さとやまは生物資源の採集の場として、ヒトの必要性に応じて、樹林、湿原、草原などが組み合わされたモザイク環境です。ヒトが20万年ほど前に東アフリカで誕生したときの環境もそのようなモザイク環境であったと考えられています。多様な生物資源を身近な場所で採集利用するくらしは、1万年ほど前に農業が始まったのちにも継続し、ヒトの居住地、農地と放牧地を含む資源採集地がくみあわされたモザイク環境が人々の心身ともに健やかなくらしをささえてきました。ヒトの資源採集は多様な生物が共存する条件を保障し、さとやまは生物多様性のゆたかな空間でした。くらしをささえてきたそのシステムが崩壊しはじめた現代、生態学的な「もろさ」に目をむけてみましょう。

14:10～15:00

海の恵みの持続的な利用にむけて

新領域創成科学研究科・教授 多部田 茂



沿岸海域は地球上で生態系の恩恵を最も受けている場であるとともに、人間活動の影響を大きく受けてきた場所でもあります。また、海の生産力を利用している漁業は、沿岸域における生態系サービス享受の典型例と言えます。沿岸域の環境と漁業を主な題材として、海の恵みを持続的に利用するための取り組みについて考えたいと思います。

15:20～16:10

互酬と共生の経済学－コモンズを手がかりとして

総合文化研究科・教授 丸山真人



自然は私たち人類に様々な恵みを与えてくれますが、それに対して私たちはどれだけ「お返し」をしているのでしょうか。既存の経済学は自然の恵みの一部しか把握していないために、十分な返礼ができず、その結果、自然環境の劣化をくい止めることができません。コモンズを守り育ててきた先人の知恵に学び直しながら、自然の恵みを包括的に捉える新しい経済学を皆さんと共に考えてゆきたいと思います。

16:20～17:10

総括討議

経済学研究科・教授／総括討議司会 柴田徳太郎



鷺谷いずみ／多部田 茂／丸山真人

東京大学公開講座受講のご案内

受付業務の一元化のため、お申込み方法が変わりました。

- ・ファックスによるお申込みができなくなりました。
- ・郵送の場合の送付先が変わりました。
※株式会社スクールパートナーズは、受付業務の委託先です。
- ・郵送でのお申し込みの方法が変わりました。
パンフレットの受講申込書を切り取り、必要事項を記入のうえ、52円切手を貼り郵便ポストに投函してください。
※詳しくは、受講申込書ウラ面の「ご返送方法」を参照してください。

次の事項をあらかじめご了承のうえ、お申込みください。

<会場の変更>

安田講堂改修に伴い、会場が法文2号館31番教室に変更になりました。

<事前のお申込み・お支払いが必須です>

事前のお申込み・お支払いが必須です。

お申し込み後、受講券と一体になった払込用紙を送付いたしますので、必ず、払込用紙により受講日の3日前までに、コンビニまたは郵便局でお支払いください。(当日の現金でのお支払いはできません)
払込用紙は、お申し込み後、2週間程度でお手元に届きます。払込用紙を紛失した場合は、すぐにご連絡ください。

<申込は先着順です>

定員になり次第、申込を締め切ります。

郵送での申込の場合、申込書が届いた時点で既に定員に達している場合は、申込書を受理できませんのでご注意ください。

申込書が受理された場合のみ、払込用紙がお手元に届きます。
なお、インターネットによるお申込みの場合は、登録が完了した時点でお申し込み完了となります。インターネットによるお申込みをお勧めします。

<キャンセル・返金>

お申し込み後のキャンセルはご遠慮ください。

入金後の受講料は、いかなる場合も返金できません。

<休講について>

台風などの荒天や交通機関のストライキ、インフルエンザの流行などにより、やむを得ず休講とすることがあります。この場合は、前日の午後5時までに、本学Webサイトに掲載いたします。Webサイトをご覧いただけない場合は、お手数ですがお電話でお問い合わせください。

また、講師の急病・事故等により、やむを得ず休講とすることがあります。この場合は、決定次第本学Webサイトに掲載いたします。

なお、上記の事由により休講となった場合は、可能な限り振替講座を行います。事情により開催できないこともあります。いずれの場合も、交通費・宿泊費等は補償できません。

<緊急連絡用のメールアドレスの登録について>

受講者の皆さまへ緊急のご連絡(当日の休講等)が必要となったときのため、連絡先として携帯メールアドレスのご登録をお願いしております。インターネットまたは携帯サイトからお申し込みの方のみ、受講の申し込みフォームから登録できますので、是非インターネットまたは携帯サイトからのお申し込みをしていただくようお願い申し上げます。

なお、郵送でのお申し込みの場合はメールアドレスの登録はできません。

<講義当日>

・講義当日は受付が大変混み合いますので、お早めにお越しください(開場:12時予定)。当日会場にて「講義要項」を配付します。

・講義時間は多少延長・短縮されることがありますので、あらかじめご了承ください。

<修了証書>

全講義一括で受講を申し込まれた方が2日以上出席された場合は、ご希望により修了証書を差し上げます。詳細は講義当日配付の「講義要項」でご確認ください。

<内容変更>

事情により、やむを得ず、日程・講演タイトル・講演者などが変更になる場合がございます。

<その他注意事項>

- ・講座の録音・録画等は、固くお断りいたします。
- ・講堂内でのお手荷物の紛失、盗難等について主催者は一切責任を負いかねますので受講者ご自身で管理をお願いいたします。
- ・手話通訳を希望される場合は、事前にご連絡下さい。(費用は、原則ご負担いただきます。予めご了承下さい。)

<よくある質問>

・難易度はどのくらいですか？

公開講座の受講者は、初心者から専門知識を持つ方まで、様々です。

講義内容は、全体的には初心者から多少専門知識を有する方向けの内容となりますが、各講師の最先端の研究内容を連携させ構成されています。従って、専門的な知識を持つ方に対する内容も含まれます。

・受講資格・試験などはありますか？

ありません。どなたでも参加できます。